

賛成

誰もが安心して暮らせるまちを

青藍会 小林憲人 議員

当年度も繰上償還が行われ、各指標を適切に管理しながら後年度負担の軽減につなげたことや、市税の徴収率が合併以来最高になったことを評価する。

また、都市基盤整備事業として、懸案であった上福岡駅東口駅前広場整備事業や都市計画道路上沢勝瀬通り線の用地買収に向けた取り組み、市内各地域での雨水対策関連事業を評価する。

更に、エアコンの設置や放課後児童クラブの拡充などの学校環境整備や、認知症初期集中支援チームの配置などの高齢者施策を評価する。今後も、子どもたちから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを期待する。

反対

基本戦略がなっていない

日本共産党 塚越洋一 議員

行き過ぎた行政リストラや受益者負担が進められ、各会計の基金合計が104億円にもなるのは、市の将来を摘み取る大損失になる。基金は使ってしまえば、それで終わりで。保育所を建て替えないで次々と廃止するのは、保育所を単なる建物としてしか見ない短絡的政策判断だ。現在のふじみ野市は、20年以上前のふじみ野駅急行停車や区画整理事業などの政策効果が波及しているからであって、いつまでも発展が続くわけではない。30年先、人口減少時代を見通して、首都圏の住宅都市としての都市構造をどうするのか、基本戦略がなっていない。

平成26年度 一般会計 決算討論

賛成多数で可決



賛成

子育ての不安解消への支援策を評価

公明党 川畑京子 議員

当年度支出の主な要因となる施設整備事業のうち、公明党も以前より強く要望していた、児童発達・発達支援センターが開設。早期発見・相談・指導を行う中、発達・発達の遅れなどから悩みを抱える保護者へ正しい知識と関わり方の習得を促すとともに、子育てへの不安解消につながる支援と考え、大変喜ばしいことと評価している。また、(仮称)ふじみ野市上福岡学校給食センター整備事業では、飽食の時代にあつて、食育・貧困・アレルギーの問題など、子どもの生命に関わる事業と認識しており、完成に向けた取り組み、継続を期待する。

賛成

子育て・ビジネスに強いまちに

無所属 民部佳代 議員

平成26年度は、安全・安心のため、そして子どもへの施策を積極的に推し進めた年度である。

市税の滞納は払える人への徴税に注力し、払えない人には生活困窮のサインと受け止め福祉支援へとつなげている。

歳出では小中学校の大規模改造、トイレ改修、教室のエアコン設置など、教育環境の整備に力を入れた。一時は撤去されたままだった公園の遊具も充実した。今後も子育て世代に選ばれるまちを目指してほしい。最大の課題は産業の活性化である。企業誘致に着手したが、民間の人材も活用して人脈を広げ、ビジネスにも強いまちになってほしい。